

最難関小学校合格に
強い塾として話題

スイング
幼児教室が
教える



矢野文彦

(スイング幼児教室代表)

育 て 方 の 冒 険 力



乱世を生き抜く
レジリエンスを
幼児期から
育てよう！

3歳から8歳までに
身につけたい
小学校受験のノウハウを
ベースにした
おうち教育の決定版！

スイング幼児教室が教える
冒険力の
育て方

矢野文彦

Part 0

はじめに — 6

Part 1

自分は“どんな親”
なのかを知ろう — 17

子どもを知るために自分を客観視する — 18

チェックシート — 20

それぞれのタイプに向けた矢野先生からのアドバイス — 26

子どもファーストタイプ — 26 / 仕事タフネスタイプ — 27

子どもフリースタイルタイプ — 28 / マイポリシー突進タイプ — 29

合理的アウトプットタイプ — 30 / 才能ピリッタイプ — 31

メジャー志向タイプ — 32 / リーダーシップ牽引タイプ — 33

マインドを再設定する — 34

SPECIAL
ISSUE

私立小学校校長対談 インタビュー①

東京農業大学稲花とうか小学校 校長 夏秋啓子先生 — 44

Part 2

未来へと続く 冒険力マップをつくろう

63

現在地を可視化することが未来へとつながっていく

64

ステップ1

子どもへの想いを再確認しよう

67

冒険力ビジョンシートの記入例

72

ステップ2

子どもの現在地を把握しよう

74

レベルアップトライ一覧の記入例

80

ステップ3

学びを未来につなげるためのポイントを知ろう

82

SPECIAL
ISSUE

私立小学校校長対談インタビュー②

2

立教小学校 校長 田代正行先生

96

私立小学校校長対談インタビュー③

3

洗足学園小学校 校長 田中友樹先生

112

Part 3

家庭でできる

冒険カレベルアップトライ

129

さあ、レベルアップトライを始めてみよう

130

くらし力を高める

134

レベルアップトライ①
レベルアップトライ④

136 / レベルアップトライ②
140 / レベルアップトライ③
150

143

mini
column

小学校受験で求められること①

152

コミュニケーション力を高める

153

レベルアップトライ①
レベルアップトライ④

156 / レベルアップトライ②
167 / レベルアップトライ⑤

159 / レベルアップトライ③
168

164

mini
column

小学校受験で求められること②

170

SPECIAL
ISSUE

ちしき力を高める

171

レベルアップトライ① | 173 / レベルアップトライ② | 176 / レベルアップトライ③ | 179
レベルアップトライ④ | 182 / レベルアップトライ⑤ | 184

mini
column

小学校受験で求められること ③

186

からだ力を高める

187

レベルアップトライ① | 189 / レベルアップトライ② | 191 / レベルアップトライ③ | 194
レベルアップトライ④ | 197 / レベルアップトライ⑤ | 200

私立小学校校長対談インタビュー ④

暁星小学校 校長 吉川直剛先生 | 202

あとがき | 218

小学校受験には、子育ての重要なヒントがある

小学校受験を取り巻く状況は、この10年間で大きく変化しました。特に小学校受験に興味関心を示す親たちが確実に増えてきました。

「私立小学校ではどんな教育を行っているのですか」「小学校受験ではどんな試験を実施するのですか」「受験をするためにはどんな準備が必要ですか」、そんな質問を受けることが増えていきます。今や小学校受験は子どもを持つ親たちにとって、関心の高いトピックのひとつになったと言えるでしょう。

背景にあるのは、社会に対する意識の変化です。パンデミックや自然災害、世界情勢の急激な変化などの乱世を経験した私たちは、先の見通しが立たない未来を生き抜くためには、これまでのやり方では通用しないと感じるようになりました。そして子どもを持つ多くの親たちが、単に学力を高めるだけの教育では十分ではないと気づき始めています。

これからの社会を生き抜くことができる子どもに育てるためにはどんな教育が

必要でしょうか。そのヒントとなるのが小学校受験です。この本を、小学校受験をしない方でも、子育ての参考にしていただき、親子の学びに取り入れてほしいと思います。

これからの子育てで問われるのは未来への可能性

小学校受験では、学力のみで合否を決める学校はほとんどありません。入学試験で取り入れている学校も多い「行動観察」の試験では、グループでの共同作業を通して他者との関わり方を多面的に評価します。単にリーダーシップを取ればいいということではなく、グループの中で自分の役割を見つけ、適切な発言や行動を取れるかどうか、目的達成への意欲、判断力などを採点します。

多くの私立小学校は、これからの社会を自分の力で周囲の人と協力しながら生きていくことができる人材を育てたいという考え方を持っています。入学を希望する子どもたちには、勉強ができるだけという、詰め込み式の準備で得られるよ

うな紋切り型の能力ではなく、他者を尊重できることや自分のことは自分でできる生活力、自らの想いを言語や形にして伝える表現力など、人間としての総合的な力が求められています。

これらは、子どもたちの未来に必ず役に立つ能力です。そして、小学校受験に向けた学びは、単に合格を勝ち取るためだけではなく、子どもたちの未来を豊かにする取り組みのひとつであること。そのことを今の時代の親たちは感じ取っているといます。

小学校受験の評価方法は、企業の就職試験とよく似ています。就職試験で受験者に問われるのは、知識や常識だけではありません。面接ではこれまでどのような活動や経験をしてきたかを問い、グループワークやディスカッションなどを通じてコミュニケーション能力を多面的に評価します。企業が人材に求めているのは、状況の変化に対応しながら成果を上げることや、周囲の人と協力しながら仕事を進められることなど、学力だけでは測ることができない人間力としてのポテンシャルの高さです。

小学校受験と就職試験という「入口」「出口」は多面的評価、その間にある中学受験、高校受験、大学受験は学力中心の評価となり、試験方法が大きく異なってきます。まさに、**小学校受験の学びは、社会で活躍できる力の基礎・基本であり、子どものポテンシャルを高めるものでもあるのです。**

今、子どもたちに必要なのは冒険力

これからの未来へと踏み出していく子どもたちに必要なのは、**【成功するかどうかわからなくても、まずはやってみようと行動し挑戦する力】**だと考えています。それが冒険力です。

冒険力は、**今大人たちに必要と言われているレジリエンス（困難にあってもしなやかに回復する力）**と言いかえることもできます。

冒険力を身につけておけば、困難にぶち当たっても前向きな気持ちを守らず、知らない道でもワクワクしながら進んでいけます。どんなときも勇気を持って、

一歩を踏み出すことができます。冒険力は子どもたちの未来を支える力になります。そして大人になってからますます必要となる力です。

冒険力は、本人に意欲があれば中学生や高校生になってからでも身につけることはできます。しかしながら、親が子どもを導きながら一緒に学ぶことができるのは、幼稚園、保育園の年少から小学校低学年くらいまで。この時期なら、生活の中で親子で楽しみながら学びを深めることが可能です。

今から始めれば、生きていく上での基礎・基本となる学びを、子育てという大切な時期に身につけさせることができます。幼児期からの学びはかわいそうなことではありません。むしろ幼児期だからこそ、親子で楽しみながら、家庭生活の中で取り組むことができます。そこで得た力は、これからの人生の大きな武器になるはずで

「子ども」というフィルターを排除し、
ひとりの人間として向き合う